



インフルエンザ 2018/19 ～新しいお薬が出たらしい?～



今シーズンもすでにインフルエンザが流行し始めました。今のところ当院の迅速検査では県内や全国の集計報告と同様大多数 A 型ですが遅れて B 型が流行し、両方感染することもあるので**飛沫感染予防対策**をお願いします。昨シーズンの報告では A 型も B 型もほぼ同じ症状ですが、B 型のほうが最高体温が若干低くウイルス残存期間が長かった、つまり発熱が遷延していたようです。

また現在国内で流行している A 型、B 型ウイルスを調査したところ、今シーズンのワクチンの型とほぼ一致しています。製造の遅れがあった昨シーズンほどの流行はしないと予測されています。

2018 年 3 月に**新しい抗インフルエンザ薬**が承認されました。パロキサビルという薬で商品名を「ゾフルーザ」といいます。このお薬はインフルエンザと診断された時に、12 歳以上 40mg (20mg 錠を 2 錠)、80kg 以上で 80mg を **1 回だけ内服**します。予防投薬は承認されていません。12 歳未満にも投与可能です (詳細は省略)。

これまでの内服薬タミフルや吸入薬イナビルは、インフルエンザにかかったヒト細胞の中で増殖したインフルエンザウイルスが細胞の外へ遊離 (放出) するのをブロックする薬ですが、ゾフルーザはヒト細胞内でのインフルエンザの増殖 (合成) をブロックします。そのためこれまでの薬に比べて**発熱が約 1 日短縮し、ウイルス排出 (咳で撒き散らす!) 量も減っていた**そうです。いまのところ大きな副作用の報告はありませんが他の薬剤同様、今後耐性ウイルスが出現するかどうか注意が必要です。吸入がうまくできない方や、認知症などで 5 日間内服が難しい場合にゾフルーザ内服が良いかもしれません。

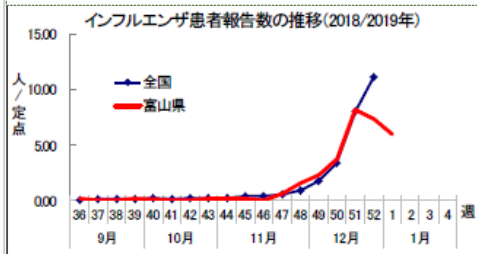
インフルエンザ迅速検査もインフルエンザ薬治療も、発症から 48 時間を過ぎるとあまり有用ではないため、**発熱が続いて「かかったかな?」と思ったら診察を受けましょう!**



ゾフルーザ錠 20mg



富山県
定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況
第 1 週 (12/31~1/6) : 富山県 5.98 人/定点



手指衛生を必要なタイミングで行っていますか?

効果的に手指衛生を行い、感染の伝播経路を遮断!



①患者に接する前

- ・バイタルサインの前
- ・移乗の前
- ・排泄介助の前



④無菌的処置を行う前

- ・創傷処置の前
- ・注射、点滴交換の前
- ・吸痰の前



③体液曝露の可能性があった後

- ・採血の後
- ・吸痰の後
- ・創傷処置の後



②患者に接した後

- ・バイタルサインの後
- ・移乗の後
- ・排泄介助の後



⑤患者の周囲環境に接した後

- ・ベッド柵に触れた後
- ・ベッドコンローラーに触れた後

5つのタイミングで手指衛生ができていますか確認してね



手指消毒剤携帯用ポシェットの着用

☆患者さんも見えています 素敵に身に付けましょう☆

ショルダーポーチとして

ウェストポーチとして



ポーチの位置が後ろ過ぎていませんか?

ポーチの位置が活動の妨げになっていないですか?

